

# 鹿島さんと 秋祭りチャレンジ

Kantai collection fan book  
for adult



RenAi Mangaka  
Presents











鹿島さんと  
秋祭りチャレンジ

Kantai collection fan book  
for adult





「今日はお祭りに  
みんなで行くんです」

秋月が嬉しそうに言う。

「ちゃんと浴衣を着て  
行くんですよ」

浴衣姿の可愛さに  
思わず唸ってしまう。

そこに鹿島がやってくる。

「可愛いわ秋月さん。  
でももっと色気が欲しい」

何か思いついた顔。

「特訓しましょう。  
そうね…  
提督さんに中出ししてもらい  
祭りの間心身を昂らせて  
愛液で中の精液を  
流し出してみて」

…とんでもない試練だ。  
だが、達成できれば  
秋月の色気はさらに増すだろう。





さあ足を  
開いてください  
秋月さん

恥ずかしいです  
鹿島さん…

ふふっ

大丈夫よ  
ここはこんな  
素敵なもの

準備はいいね  
それじゃいね  
よ

あっ…

司令ので  
広がっちゃう…





はあっ…

一番大きい  
頭の部分が  
すっぽりと  
入ってます

痛かったり  
しない？

大丈夫です

鹿島さんが  
じつくりと  
ほぐして  
くれたので

そうか  
良かった

クワッ  
クワッ

いいサポートだ  
鹿島

それじゃ  
秋月の中を

私の竿にて  
馴染ませて  
いこうか

あっ…  
お願いします…

クワッ  
クワッ  
クワッ

いえいえ



まずは腰周りの力を抜いて

膣口を開放してみてください

それでいい  
スムーズに奥まで入っていきける

はい…

これでいいですか？

カ  
カ

その調子でまずは摩擦に慣れていこう

あ

あ

凄い

擦らな  
ががら  
まがら  
すがつ  
られて





よしっ  
まず最初の精液を  
注入するぞ

しっかりと  
奥で受け取るんだ

はっはっはっ

はっはっはっ

はっはっはっ

はっはっはっ





おかえり  
楽しかった  
かい？

はい  
とても



それじゃ  
確認しようか

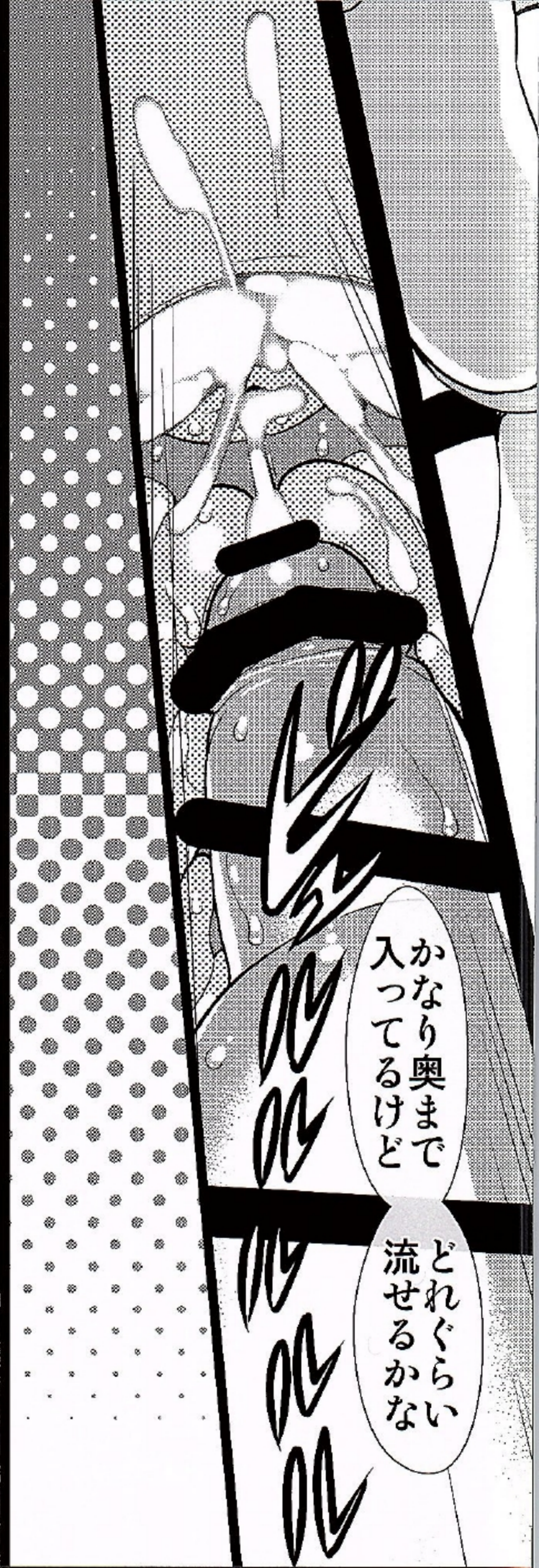
お願いします



かなり  
興奮したのね

ディルドで  
栓をしたのに

精液はすっかり  
流れ出て  
しまってるみたい



かなり奥まで  
入ってるけど

どれぐらい  
流せるかな





恥ずかしやいの  
興奮しちやいの

事情を知ってる子は  
いじってくるし



いい感じよ

精神的にも  
身体的にも  
感度が上がってる



あ

ふ  
良かったです



それでいいのよ



追加の  
膣内射精を  
お願いします！

よし



すみません  
もう我慢が...

そうよね  
ここはもう  
提督さんのを  
待ち侘びてるわ

頑張った  
ご褒美を  
あげなきな



さつきより  
スムーズに  
入ったな

ふふっ

これは私から  
ご褒美

はい…

もうずっと  
欲しくて  
たまりません  
でした

あなたは  
ここも  
好きでしょ

はー  
はー

二つ同時  
ダメですっ

あ

はっ  
はっ







こ...  
こんなの...

あ

あ

あ

あ



あらあら  
もうダウン？

精液のあふれ方が  
少ないわね

トロ

ふあ：  
不甲斐なくて  
すみません

提督さんは  
まだ満足  
してない  
のでは？

そうだね

すこし  
待ってから  
続きを  
しましょうか

秋目ナツの  
アナルが  
かきこい

いや

次は  
君の番だ

え？



秋月のお尻を  
楽しそうに  
かじってた  
からね

うっ

うっ

うっ

うっ

それは…

彼女には  
後ろの  
素質が

君の方が  
アナル好き  
だろ？

おもしろ  
い口癖  
だな

あ

あ

あま

太いです  
提督さん

前でも後でも  
どっちでも  
いけるもんな  
鹿島は

あ

あ

どちらも  
好きな  
えっちな  
艦娘です



締めただけなら  
後ろの方が  
きついな

いっ

いっ

それは普段から  
使ってるから  
締め方が  
分かってるので…

って変なこと  
言わせないで  
ください!

ああんもう…  
前と全然  
違うんです

普段出ていく  
ところに…

入っていくのは  
どんな感じかな?

排泄感が  
刺激されて  
恥ずかしいのに  
興奮します!

びびる



くっ  
膣口を開いてくれ  
中を見ながら  
射精するから

もう  
どこまで  
変態なん  
ですか

私を  
恥ずかしくして

いっぱい  
射精して  
ください

ん  
あ  
あ





ぽつかりと開いた  
鹿島のお尻の穴からは  
とめどなく精液が  
噴き出している。

だが、あれだけ激しく  
していたというのに  
出てくるのは白い精液だけ。

「やっぱり鹿島さんは凄い……  
私じゃ痛くて怪我しちゃいそうなの」  
悠然と受け止めてる……」  
圧倒的な差を感じる秋月。

「秋月、もし君が望むなら  
同じくらいのことには出来るようになる。  
けどまあ、焦ることはないよ」  
そう言いつつ、鹿島を愛でる司令を見た  
秋月は、もっと激しくしてもらって  
その後今の鹿島のように優しく  
撫でられたいと思うのであった。



# 鹿島さんと 秋祭りチャレンジ

Kantai collection fan book  
for adult

製作 恋愛漫画家

発行日 2016.9.11

印刷 PowerPrint

連絡先 hironasu@muu.biglobe.ne.jp

<http://www.renai-manga.com/>

無断転載・複製はお止めください

## postscript

こんにちは、あるいははじめまして。

ここまで読んでいただき

ありがとうございます (\*´ω`\*)

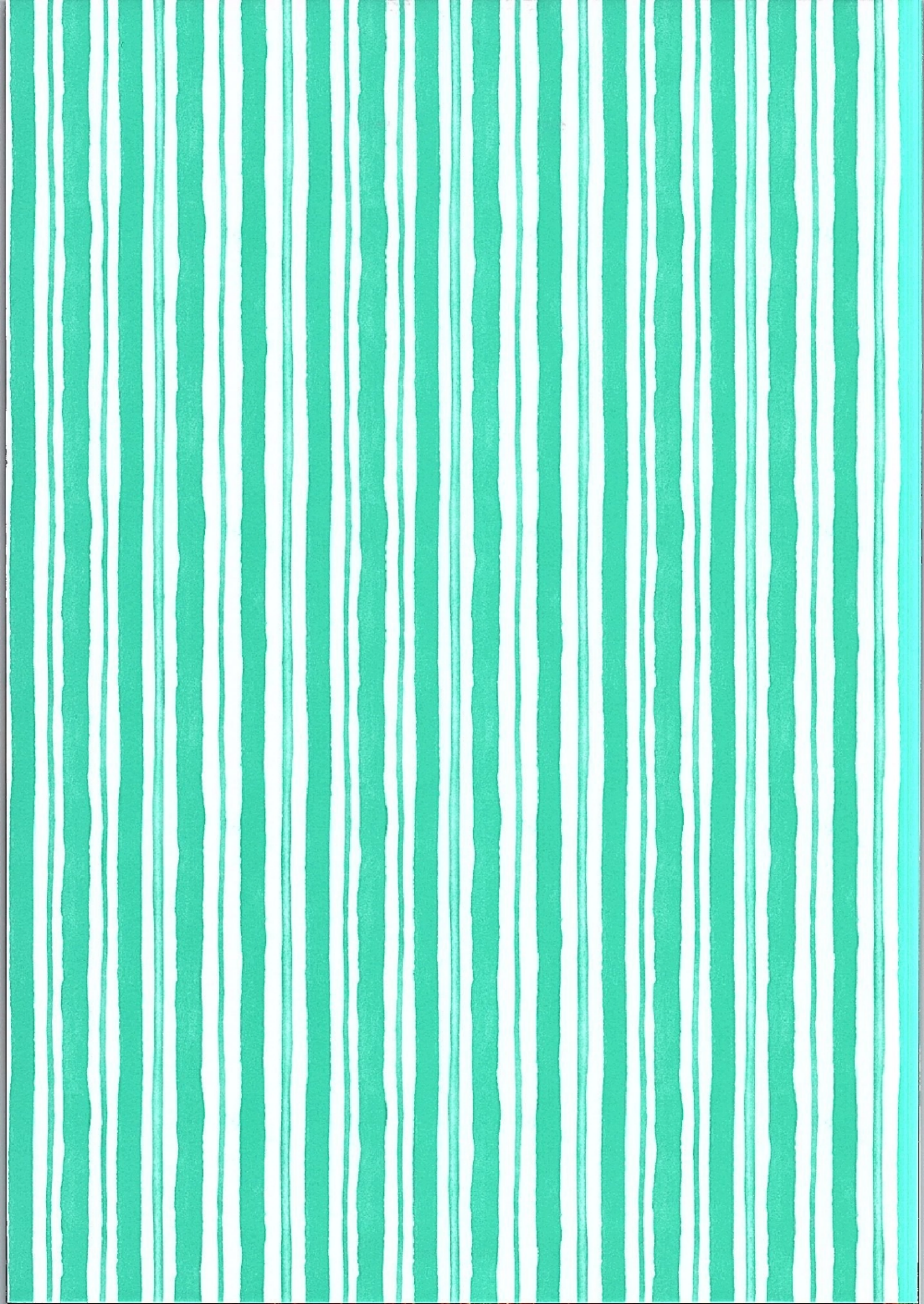
漫画で描いて見たかった秋月を  
描けて楽しかったです。

ゆかた、本当かわいくて！

鹿島さんの教育的指導と化学反応した  
内容、いかがだったでしょうか？

ではでは。また！









鹿島さんと  
秋祭りチャレンジ

Kantai collection fan book  
for adult

